

黒金谷沢登【ビール祭り】沢班1日目

【報告者】I江

【日時】2018年7月28日

【天候】晴れ

【参加者】マサ(L)・T橋・K崎・Y中・K田・H田・I江・H塚

《コースタイム》

7:10 祖母山登山口 - 7:20 入渓 (標高 650m 付近橋を直後) - 11:00 黒金尾根登山道 - 12:00 再入渓 (沢下り) - 13:00 登山口

《報告》

7/27(金) 前夜発。夜 12 時、集合場所「原尻の滝」に各車集結。

先行して下見をしていていた本田さんの話を聞きながら、軽く一杯飲んでテントで就寝。

7/28(土) 5 時起床、晴れ。

祖母山登山口で準備して 7 時過ぎにスタート。(標高 600m)

しばらく登山道歩きの後、宮原コースに向かう 1 つ目の橋は渡らずにそのまま登山道を進む。

2 つ目の橋を渡った直後に入渓 (7 時 30 分/標高 650m)。

黒金谷に入るまで、しばらくは穏やかで傾斜が少ない本流の歩きを各自銘銘楽しむ。

水量が少ないものの、溪相は明るく、水温もちょうど良く気持ちいい。

釜を泳いだり、へつったり、ウォータースライダーで遊んだり。

でも、大量の大きな流木が大岩に挟まっており、先日の大雨による凄まじい水量の痕跡を想わせる。

標高 780m、川上本谷(左股)と黒金谷(右股)の二股に出会い、進路を右股に取る。

ここから黒金谷。

長いナメが気持ちを穏やかにさせてくれる。天気も良く快適そのもの。

徐々に勾配が上がると同時に、それまで腰まで水に浸かることが多かったせいか、徐々に身体が冷えてきた。皆さん、カップを着て保温。

稜線に出るには、この先にある二股を右に進まねばならない。

標高 1030m で右手に枝沢があったが、枯れていたし進むべきはここではないと判断し、少し上がった標高 1100m で出会った二股で右の沢に入る。

このあたりから先頭を行かせてもらっていたが、付近は結構ガレガレ。

後続も 6 人と人数が多いため、落石を絶対起こさないように足の踏み場に神経を使いながら慎重に歩く。

稜線方向の木々の向こうに青空がチラリと見えた頃、稜線に出るべく北方向に進む方向を変える。斜面をトラバースしながら幾つか沢筋を横切って越える。 こういうどこ進むか地形を見ながら判断していく作業が楽しい。

しかし、おかしいな、どうして幾つも沢が出てくるのだろうかと疑問を持ちつつ、獣道に沿って進む。 どうやら右股に入るべき二股を間違えていた。 標高 1100m の二股ではなく、さらにその下の標高 1030m の二股を右沢に進むべきだった。 今後行く方は分かり難いのでご注意を。

最後の詰めを経て、11時、黒金尾根の登山道にひょっこり出た。
ひと休憩して、サッサと黒金尾根登山道を下り、750m 地点で再び沢に入る。
釜に飛び込んで遊ぶ。汗をかいて火照った身体が冷えて心地よい。

13時登山口に到着。
登攀要素のある滝は少なく、泳ぎとナメの連続した明るい沢。
高巻きする箇所もない。 詰めのルーファイが楽しかったです。